

# 2020年度調達等合理化計画の実施状況及び評価

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むため、2020年6月、調達等合理化計画を策定。
- 主な実施状況は以下のとおり。引き続き取組を進め、課題等は2021年度調達等合理化計画に反映

## ○重点的に取組む分野

### 計画の内容

- ①訪日プロモーション事業の企画競争の要件審査の充実及び迅速化並びに計画的な事業実施  
→ 事業を迅速かつ的確に進める必要があるため、企画競争の要件審査に係るチェックリストの見直しを必要に応じ行い、要件審査の一層の充実及び迅速化を図り、計画的に事業を実施。
- ②訪日プロモーション事業における総合評価落札方式の適切な運用・実施  
→ 主に企画競争により行っている訪日プロモーション事業の調達について、一層の競争性の向上を図るため、総合評価落札方式を適切に運用・実施。
- ③企画競争の一者応募の見直し  
→ 企画競争における一者応募となる要因を解消するため、発注・実施時期の見直し(公示の分散化)や、事業内容・規模に応じた準備期間の確保(十分な提出期限の設定)に加え、企画競争説明書等の電子メールによる交付を実施。  
→ 当機構の取組により改善できる余地がないか検討するため、引き続きアンケート調査を行い、要因を分析して改善策を検討。

### 取組みの状況及び効果

- 【**訪日プロモーション事業の企画競争の要件審査の充実及び迅速化並びに計画的な事業実施**】※()は前年度実績
- 応募者が要件審査チェックリストを記入・確認し、企画提案書とともに提出させ、不備がないか当機構の事業担当者が確認(82件(146件))したうえで、審査員が企画提案書の審査を行ったことにより、要件審査の充実・迅速化が図られ、計画的な事業の実施につながった。
- 【**訪日プロモーション事業における総合評価落札方式の適切な運用・実施**】
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、訪日プロモーション事業の延期や中止となる中、実施する事業について一層の競争性の向上を図るべく、総合評価落札方式による調達への移行を検討したものの未実施となった(前年度調達件数4件)。
- 【**企画競争の一者応募の見直し**】※()は前年度実績
- 企画競争82件(146件)中、一者応募は31件(41件)であり、その割合は前年度より増加(28%→37%)。企画競争説明書等を電子メールによる交付を実施したことで、多くの事業者から問い合わせがあった。  
新型コロナウイルス感染症感染拡大により緊急事態宣言が発出されたことを踏まえ、公示期間を十分に確保するなどの対策を講じたが、アンケート結果の分析から「企画提案書の提出期限に余裕がなかった」等の意見が相当数あり、予想以上に影響があったものと思われる。

## ○調達に関するガバナンスの徹底

### 計画の内容

#### ①随意契約に関する内部統制の確立

→ 競争性のない随意契約を締結した案件については、監査室の点検を実施。

#### ②職員のスキルアップ

→ 一層複雑化・専門化している調達業務について、当機構の人材育成が極めて重要であることから、本部職員や海外事務所職員に対して研修等を実施。

### 取組みの状況及び効果

#### 【随意契約に関する内部統制の確立】※()は前年度実績

→ 競争性のない随意契約を新たに締結した22件(46件)について、独立した立場である監査室による点検を受け、会計規程における「随意契約によることができる事由」との整合性について確認ができた。

#### 【職員のスキルアップ】

→ 一層複雑化・専門化している調達業務について職員のスキルアップを図るため、海外赴任予定者に対しては研修内容を改善して適正な契約事務手続き等について研修を行ったほか、必要に応じて本部会計担当者から会計事務手続きの注意喚起などを行った。

こうした取り組みにより、調達業務の重要性が認識され、適正な調達業務の遂行に寄与している。

## ○2020年度調達等合理化計画の評価

2020年度独立行政法人国際観光振興機構調達等合理化計画について、取組み内容及び効果を検証した結果、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い一部の分野において十分な取組みとならなかったが、公正性・透明性を確保しつつ調達の合理化には寄与したことから、その目的は概ね達成したと認められる。

引き続き、PDCAサイクルにより、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むこととする。